

くすのき



令和3年度
千葉市立山王中学校
学校だより3号
令和3年6月15日(火)

「おはようございます」と「ありがとうございます」

細川 義文

授業等で生徒たちと触れ合う機会がないので、せめて朝の挨拶だけでもと思い、職員打ち合わせのない日は、廊下に立って「朝の挨拶運動」を行っています。3年生が多く通るところで行っているのですが、やはり挨拶をするというのはとても大切ですし、良いことなのだなあと感じています。それは、笑顔で元気に挨拶をする、たったそれだけのことですが、生徒たちの挨拶によって元気づけられたり心が温まったりするからです。挨拶をするときには、一人一人と目を合わせることを心掛けているのですが、目があつた瞬間に「にこっ」と笑顔になり、元気な声で「おはようございます」と挨拶をしてくれる生徒が多くいます。ですから、「朝の挨拶運動」が終わったあとには、「よし、今日も一日がんばろう！」と思っている自分を発見することができます。これから梅雨に入り、天候もどんよりとしてくる時期ではありますが、「朝の挨拶運動」を行うことで、少しでも生徒たちの気持ちが晴れてくれればと思います。

そんな「朝の挨拶運動」をしていたある日、二人の女子生徒から「外のバスケットゴールを直していただき、ありがとうございました！」と深々としたお辞儀とともにお礼の言葉をもらいました。バスケットゴールの修理は教頭先生が手配をしてくださったものなので、私が直接関わったものではないのですが、「校長」である私も当然知っていると考えたのでしょう、お礼の言葉を言ってくれたのです。先週の間接テストの日には、朝の挨拶とともに「テスト頑張って」という言葉を添えたのですが、「ありがとうございます」と言葉を返してくれる生徒がたくさんいました。学校だより5月号でもお知らせした運動系部活動の部長さんもそうですが、素直に「ありがとうございます」と感謝の気持ちを表せるというのはすばらしいなあと思いました。言葉に込められた思いに触れ、こちらこそ「ありがとうございます」と思いました。



ありがとう
ございます

「おはようございます」という挨拶や「ありがとうございます」というお礼の言葉は、人と人をつなぐ大切なものなのだなあと改めて認識した次第です。生徒たちには、これからも元気な挨拶ができ、感謝の気持ちを素直に表せる人でいてほしいと思います。